

令和6年度 沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター及び
沖縄バイオ産業振興センター指定管理者制度運用委員会における
モニタリングの検証結果について
(令和5年度実績分)

1. 施設名：沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター
2. 開催日時：令和6年6月25日（火曜日） 10:00-12:00
3. 開催場所：沖縄県庁14F 商工労働部会議室
4. 出席者：委員4人中 4人出席
(会長) 琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 新里 尚也
(委員) 渡嘉敷唯夫税理士事務所 税理士 清川 美智子
(委員) 株式会社EM研究機構 執行取締役 新谷 正樹
(委員) 株式会社カタリスト琉球 代表取締役 稲福 幸子
(事務局) ものづくり振興課
(指定管理者) バイオセンター運営共同体
5. 検証事項：沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター（令和5年度実績）
に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
 - (1) モニタリングは適正に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
 - ・施設の管理運営は概ね適切になされている。
9. 主な質疑・意見

質問：指定管理者が対応する施設及び機器の修繕について。また、今後、指定管理者が対応する修繕が増えた場合の対応について。

回答：小規模なもので、1件につき50万未満の修繕に関しては、指定管理者が実施している。指定管理者は予算の範囲内で実施し、予算を超える際には、県と指定管理者で調整し修繕対応する。

意見：令和6年4月3日に発生した地震では、日頃の訓練通り、館内で避難広報し、施設利用者への避難対応は適切に実施されたが、最近訓練への参加企業が減っているため、入居企業には引き続き訓練への参加を促す必要がある。
10. 会議の公開状況：公開